

安倍改造内閣発足について

平成 26 年 9 月 3 日

国民生活産業・消費者団体連合会
会 長 清 水 信 次

新たな安倍内閣が発足したことを歓迎する。

我が国は今から 69 年前に終結した第二次世界大戦において、東京、大阪をはじめとした全国の主要都市 200 ヶ所以上が焼け野原と化し、特に原子爆弾により受けた惨状は余りにも甚しいものだった。しかしながら、この廃墟の中から立ち上がり、100 年以上復活は不可能と言われてながらも、僅か 23 年で米国に次ぐ世界第 2 位の経済大国に成長し、それ以降、平和で世界最高かつ安全安心な国民生活が営まれるに至り、世界最長寿国を達成した。

その一方で現在我が国は、人口減少・高齢化等のかつてない重大な構造変化にも直面している。また、目を海外に転ずれば、国際情勢は極めて不透明な多極化の進行の中でアジア諸国の成長が見られるなど、大きな地殻変動が起こっている。

このような内外の大きな変動の中で、安倍新政権には、日本のあるべき 50 年 100 年先の国家の大計と将来の姿をしっかりと描き、その実現のための長期政権への確かな舵取りをしていただくよう強く期待したい。

最後に、現在停滞している近隣諸国との信頼関係の構築を自ら進んで着手していただきたい。特に日中韓の首脳会談は、毎年何度でも時間を惜しまず胸襟を開いて話し合う事が大切だと考える。この実現のためには、まさに長期政権が必要である。

以上